

令和5年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

観光ブランド推進課

1 施設の概要等

施設名	河佐峡		
所在地	府中市諸毛町及び久佐町		
設置目的	観光事業の振興を図る		
施設・設備	キャンプ場、パークゴルフ場ほか		
指定管理者	R5.4.1	～	R6.3.31 (一社)府中市観光協会

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)		
	R4	20,000 人	28,934 人	11,773 人	8,934 人	144.7	%
R5	28,480 人	29,609 人	675 人	1,129 人	104.0	%	
R6						%	
R7						%	
R8						%	
増減理由	R4年度からコロナ禍によるイベント中止等が無くなり、フェスティバルやウォータースライダー等が令和元年度ベースで再開され、R5年度も継続して利用者が来訪したため。						

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	<b>【実施方法】</b>	<b>【対象・人数】</b>
	施設利用者アンケート実施	個人利用49人
	<b>【主な意見】</b>	<b>【その対応状況】</b>
	トイレにオムツの交換台を設置してほしい	未対応
	管理人の対応が丁寧で親切でした	

4 市の業務点検等の状況

項目		実績	備考		
報告書	年度	○	事業報告書		
	月報	○	月次報告書		
	日報(必要随時)	×			
管理運営会議	0 回 会場	【特記事項等】 ・運営上で協議が必要な事項が発生した際は、随時に協議を行い解決した。			
現地調査 (実施月)		【指定管理者の意見】			
1月	2月	3月	4月	5月	【市の対応】 ・現場職員へのヒアリング ・指定管理者へのヒアリング ・施設点検の実施
			○		
6月	7月	8月	9月	10月	
			○		
11月	12月				
○	○				

## 5 市委託料の状況

(単位:千円)

市委託料 (決算額)	年度	金額	対前年度増減	料金収入 (決算額)	年度	金額	対前年度増減
	R4	15,842	335		R4	0	0
R5	16,507	665	R5	0	0		
R6			R6				
R7			R7				
R8			R8				

## 6 管理経費の状況

(単位:千円)

項目		R4決算額	R5決算額	対前年度比	主な増減理由等
委託事業	収入				
	市委託料	15,842	16,507	665	運営経費増による増
	料金収入	0	0	0	
	その他収入	610	112	-498	市電気高騰支援金減
	計(A)	16,452	16,619	167	
	支出				
	人件費	7,811	8,845	1,034	臨時職員賃金増による増
	光熱水費	1,495	1,501	6	
	設備等保守点検費	257	339	82	
	清掃・警備費等	4,409	4,386	-23	
	施設維持修繕費	914	294	-620	自主作業による減
	事務局費	1,141	249	-892	公課費の減による減
	その他支出	945	955	10	
	計(B)	16,972	16,569	-403	
収支①(A-B)	-520	50	570		
自主事業					
収入(C)	0	0	0		
支出(D)	0	0	0		
収支②(C-D)	0	0	0		
合計収支(①+②)	-520	50	570		

## ※1 利用料金制

公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。

指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

## ※2 自主事業

指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

## 7 管理運営状況

項目	指定管理者	市の評価
総括	<p>地域住民の福祉の増進と地域文化の交流、ふれあいの場であるという河佐峡の理念に基づき、安全で快適に過ごせる施設運営に向け、地元町内会との連携を図りながら管理運営を行った。</p> <p>また、水難防止策の取組みとして、訓練の実施やライフジャケット着用の推進等、利用者の安全確保対策を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の維持管理について、適切に行われている。</li> <li>・地域と連携した事業の実施がなされていた。</li> <li>・1年間と限定的な期間にも関わらず前管理者からの引継ぎ、また、次の指定管理者への引継ぎを滞りなく行えた。</li> </ul>

## 8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	市
課題と対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然の川漕であるため、危険と隣り合わせな施設であるが、安全対策を強化することが重要である。</li> <li>○ウォータースライダーなど夏季には多くのスタッフ確保が必要となるが、町内会協力者も高齢化するなど厳しい状況であり、将来的にわたり運営できる人員確保が必用である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境を活用した施設であることから、安全対策は随時見直しを行っていく必要がある。来場者への注意喚起は特に注力していく必要がある。</li> <li>・スタッフの確保について、地元住民を主軸に、地元で賄えない場合は他地域からの人材確保も検討をする必要がある。</li> </ul>